# Q12: Technical and Regulatory Considerations for Pharmaceutical Product Lifecycle Management

医薬品医療機器総合機構 再生医療製品等審査部 岸岡康博



# 本日の内容

- ■背景
- ■リスボン会議での議論
- ■今後の予定



### 経緯

- ~2014年6月
  - Quality Brainstorming GroupやInformal Quality Discussion Group (IQDG) にて、今後、品質分野で議論していくべき事項について議論。
- 2014年6月
  - ミネアポリス会議にて、今後扱うべきトピックヌはガイドラインとして、 "Lifecycle Management" が最優先事項とされ、IQDGメンバーにより、コンセプトペーパーとビジネスプランのドラフト作成が始まる。
- 2014年6~7月
  - 3回のIQDGテレカンにより、コンセプトペーパーとビジネスプランの最終化。
  - 7月28日、コンセプトペーパーとビジネスプランの最終ドラフトの完成。
- 2014年9月9日
  - Steering Committeeにコンセプトペーパーとビジネスプランが了承される。
- 2014年10月
  - EWGメンバーにより、リスボン会合でのアジェンダとワークプランの作成。



#### EWGメンバー

- MHLW/PMDA(4), JPMA(3), FDA(4) \*, PhRMA(4)\*, EU(3), EFPIA(3), Health Canada(3), Swissmedic(1)
- Observer: WHO(1)
- Interested Party: WSMI(1), IGPA(2), BIO(2), APIC(1)
- DoH of Chinese Taipei(1), DRA of Singapore(1)

#### 日本メンバー

#### MHLW/PMDA

TL: 岸岡康博(PMDA) DTL: 鞍木真美(PMDA) Expert: 八木聡美(PMDA)

Expert: 亀山雄二郎(PMDA)

#### **JPMA**

TL: 仲川知則(大塚製薬) DTL: 和田雅昭(塩野義製薬)

Expert: 澤田章弘(科研製薬)

\*: Rapporteur

#: Regulatory Chair

#### (参考)

WSMI: World Self-Medication Industry

IGPA: International Generic Pharmaceutical Alliance

**BIO: Biotechnology Industry Organization** 

**APIC: Active Pharmaceutical Ingredients Committee** 

DoH: Department of Health DRA: Drug Regulatory Agency



### リスボン会議の目的

■ コンセプトペーパーにおける重要な要素について理解を 深めるとともに、EWGメンバー間で認識の共有を図る。

- 参加メンバーは多岐に渡る分野のエキスパート。 (Small Molecule、Large Molecule:開発、製造管理、品質管理:審査、査察)
- Lisbon会議では、各分野の専門的な立場から意見が交わされた。
- 各分野における課題とQ12に期待する課題について、意見と今後の在り方について議論が行われた。

#### (参考)

- ・ コンセプトペーパー http://www.ich.org/fileadmin/Public\_Web\_Site/ICH\_Products/Guidelines/Quality/Q12/Q12\_Final\_Concept\_Paper\_July\_2014.pdf
- ・ ビジネスプラン http://www.ich.org/fileadmin/Public\_Web\_Site/ICH\_Products/Guidelines/Quality/Q12/Q12\_Final\_Buisness\_Plan\_July\_2014.pdf



#### コンセストペーパー(1)

#### ■目的

- 変更マネジメントの調和。製品ライフサイクルを通じて、製薬企業にとっても規制当局にとっても、より透明性のある効率的な方法で CMCに関する変更を行うことで、供給の安定性や信頼性を向上させる。
- 製薬企業の信頼されうる医薬品品質システム(PQS)の構築。
- 審査や調査に要するリソースの最適化。
- イノベーションや継続的改善のサポート。
- ■・・・等。

#### ■適用対象

既承認の化成品や生物薬品(バイオテク/ロジー応用医薬品/生物起源由来医薬品)を含む医薬品に適用する。



# コンセプトペーパー(2)

- ■解決すべき課題
  - Regulatory Dossier
  - Pharmaceutical Quality System (PQS) aspects
  - Post-Approval Change Management Plans and Protocols



#### リスボン会議での議論(抜粋)

- Regulatory Dossier(/Regulatory Commitment)
  - 承認後に製薬企業がどのような製造管理、品質管理を行うのか、supportive informationと区別することは重要。
  - "Regulatory Commitment"とは?その範囲は?定義を調和できるか?用語は 適当?
- PQS
  - 知識管理(Knowledge Management)や変更マネジメント(Change Management)に関して、Q12で扱うべき内容は何か?
  - 知識管理(Knowledge Management)はライフサイクルマネジメントや継続的 改善における重要な基礎である。
- Post-Approval Change Management Plans and Protocols
  - 米EUでは既にガイドラインがある。

(PACMP)

- ライフサイクルマネジメントの一つの要素。
- PACMPは Regulatory Commitment の一部?
- PACMPを通じて、製薬企業の品質リスクマネジメントを理解することになる。



## Q12ガイドラインのアウトライン(仮)

- Introduction
- Scope
- Pharmaceutical Product Lifecycle Management (Overview)
  - Objectives
  - Relationship to other ICH guidelines
  - Integration of Key elements/aspects to achieve guideline objectives
- Regulatory Dossier aspects
- PQS aspects
- Post-Approval Change Management Plans and Protocols
- Glossary



## Q12ガイドラインで目指すもの

- Clear, comprehensive, self-contained without need for additional examples or annexes
- ICH harmonized guideline and useful globally in the future
- Forward-looking and pragmatic
- Appropriately balancing conceptual and practical aspects
- Supports innovation and continual improvement



### 今後の予定

- ~2015年6月 3回のEWGテレカン
- 2015年6月 2回目会議
- 2015年11月 3回目会議
- 2016年春 ステップ2ガイドライン
- 2017年春 ステップ4ガイドライン



# ご静聴ありがとうございました。

